資料－２

茨城県移動性・安全性向上委員会

第34回委員会資料

（安全性）

令和6年8月8日

国土交通省　常陸河川国道事務所
茨城県土木部

目　次

1. これまでの検討経緯 ---------- p2

2. 第33回委員会における主な指摘事項と対応 ---------- p4

3. 幹線道路の交通安全対策検討 ---------- p6

- 事故ゼロプランの取り組み ---------- p7
- 第7期事故危険区間 ---------- p8
- 対策効果未発現箇所 ---------- p13

4. 生活道路の交通安全対策検討 ---------- p15

- ゾーン30プラスの概要 ---------- p16
- ゾーン30プラスの整備計画 ---------- p17

5. 今後のスケジュール ---------- p18

１．これまでの検討経緯

茨城県移動性・安全性向上委員会(安全性)の検討経緯

・事故ゼロプランは茨城県移動性・安全性向上委員会（安全性）での議論を踏まえ、PDCAサイクルに基づく対策の立案・実施・評価・追加対策の検討を進めてきました。

・その中で事故ゼロプランを効果的に推進するため、新たに事故危険区間を選定するルール（基準）を設定し、現時点までで第1期～第7期の事故危険区間を選定し、検討を行ってきています。

■これまでの主な検討内容

委員会		事故ゼロプランの検討内容
平成21年度	第1回	・事故危険区間抽出のためのパブリックコメント実施方針の検討
平成22年度	第2・3回	・事故危険区間529区間の選定（国146区間、県383区間） ・事故危険区間の代表61区間の設定（国52区間、県9区間）
平成23年度	第4回	・事故危険区間の対策方針の検討（個別調書の作成）
平成24年度	第5・6・7・8回	・事故ゼロプランの効果的な推進のためのルール検討（追加およびフォローアップ） ・新たな事故危険区間90区間（第2期事故危険区間）の設定（最新データによる選定：国23区間、県67区間）
平成25年度	第9・10・11回	・新たな事故危険区間24区間（第2期事故危険区間）の追加（アンケートによる選定：国14区間、県10区間） ・第3次事故危険箇所41箇所を事故ゼロプランとして位置づけ（H25事故危険箇所：国13区間、県28区間）
平成26年度	第12・13・14回	・新たな事故危険区間126区間（第3期事故危険区間）の選定（最新データおよびITデータによる選定：国69区間、県57区間）
平成27年度	第15・17回	・第4次事故危険箇所30箇所を事故ゼロプランとして位置づけ（H29事故危険箇所：国11区間、県19区間）
平成28年度	第18・19回	・新たな事故危険区間64区間（第4期事故危険区間）の選定（最新データおよび最新指標値による選定：国35区間、県29区間）
平成29年度	第20・21回	・新たな事故危険区間（第5期事故危険区間）の検討
平成30年度	第22・23回	・新たな事故危険区間103区間（第5期事故危険区間）の設定 （最新データおよび最新指標値による選定：国19区間、県84区間）
令和元年度	第25回	・新たな事故危険区間21エリア（第5期事故危険区間（エリア））の設定（最新データによる選定：国4エリア、県17エリア）
令和2年度	第26回・第27回	・新たな事故危険区間（第5期事故危険区間（エリア））の設定 ・対策完了（卒業）ルールの検討
令和3年度	第28回・第29回	・新たな事故危険区間（第6期事故危険区間）の選定（最新データおよび最新指標値による選定：国27区間、県20区間） ・第５次事故危険箇所29箇所を事故ゼロプランとして位置づけ（事故危険箇所：国11区間、県18区間） ・対策完了（卒業）判定の結果、国80区間、県77区間が対策完了と判定
令和4年度	第30回・第31回	・新たな事故危険区間（第6期事故危険区間）・対策効果未発現箇所の対策検討 ・対策完了（卒業）判定の結果、国31区間、県26区間が対策完了と判定 ・新たな事故危険区間（第7期事故危険区間）の選定方針の検討
令和5年度	第32回・第33回	・対策効果未発現箇所の対策検討 ・新たな事故危険区間（第7期事故危険区間）の選定（最新データおよび最新指標値による選定：国12区間、県10区間） ・対策完了（卒業）判定の結果、国6区間、県37区間が対策完了と判定 ・ゾーン30プラス（県内5エリアで整備あるいは整備計画策定済）

２．第３３回委員会における主な指摘事項と対応

- ポスター・チラシについて
- 路面標示の検討について
- 事故危険区間の対策完了（卒業判定）について
- 今後の事故ゼロプランの進め方について

第33回委員会における主な指摘事項と対応

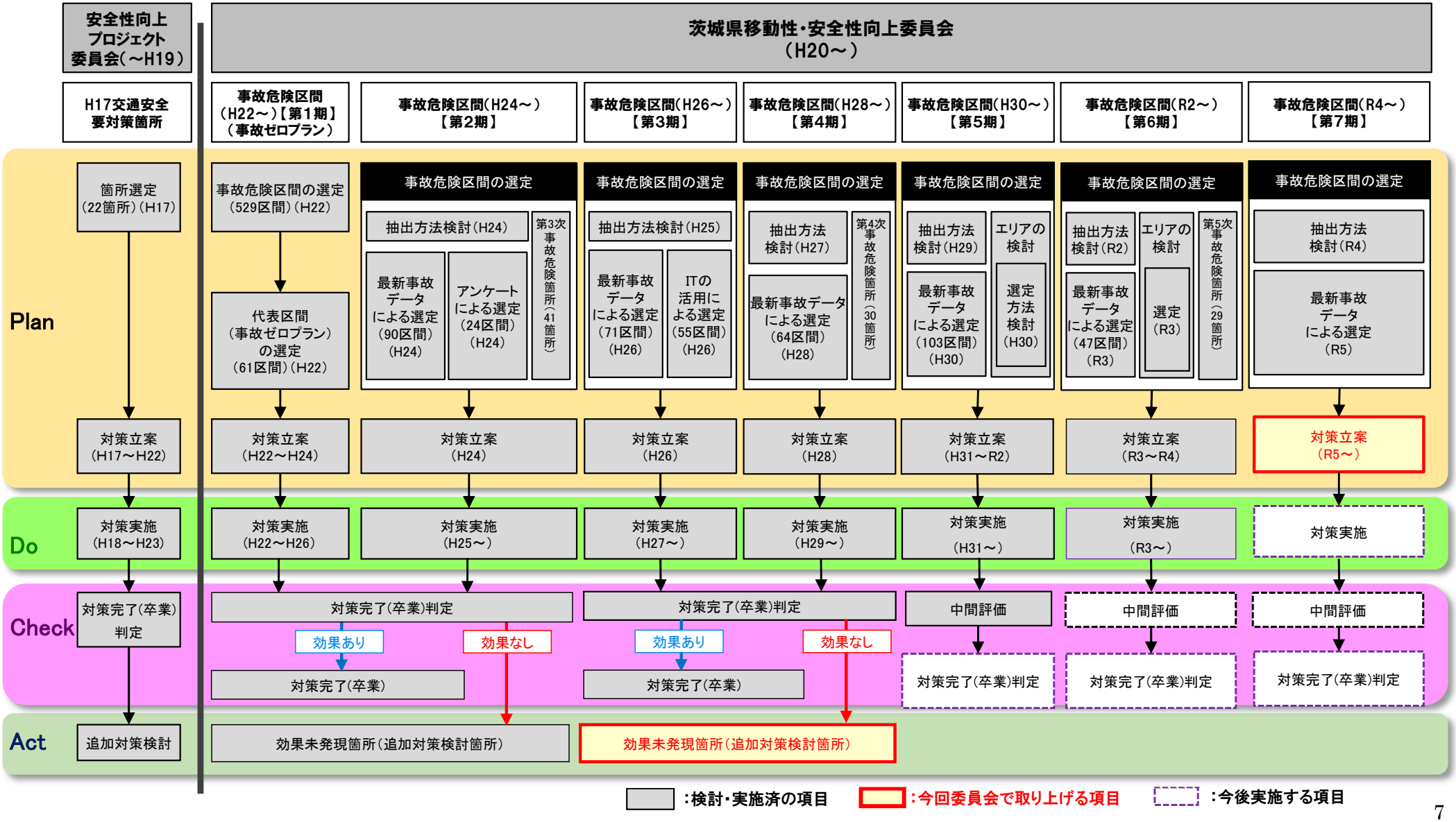
・第33回委員会でご指摘を頂いた事項について、対応方針を整理しました。

議事	指摘事項	対応方針
ポスター・チラシについて	ポスター・チラシ案は今後、色々な場所に貼り出すということで良いか。	本日、チラシ・ポスターを準備しましたので、ご協力可能な委員の皆様にはご所属の組織等において、配布していただきたい。また、常陸河川国道事務所のホームページにチラシをアップして、公開していきます。今後のこのような方法にて、PRを継続していきたいと考えています。
路面標示の検討について	幅員が確保できれば1列にするのが良いのかもしれないが、現地状況に合わせて適宜調整する形になると感じる。2文字の2段書きにするならスペースを使って文字を大きくしても良いのではないか。	今後は横書き1列の路面標示を基本として対策を実施していきます。また、対策実施後の効果検証をしていきたいと考えています。
事故危険区間の対策完了（卒業判定）について	卒業判定の表では実施した事故対策内容の記載がないが、事故がこれだけ減っているというのは具体的に取り上げてPRしても良いと感じた。	今後は個別箇所の具体の効果検証を実施し、代表事例などは国道事務所のHPなどで公表していきたいと考えています。
今後の事故ゼロプランの進め方について	再対策のルールを変えるのであれば、事故が4割減少しないことが分かった時点で、対策検討のフローに載せてもよいと思う。 一度選定した箇所で対策を行う前に事故が減ってしまった場所については具体の事例を示して欲しい。	今後は対策後の事故件数が増え、4割減少しないことがわかった時点で、追加対策検討を実施し委員会に提示させていただきます。 また、事故ゼロプランの箇所選定後、対策実施までの間に周辺の交通事情が変わったことなどによって、事故が減少する場合もあると想定しています。今後、該当するような箇所が発生した場合は、具体箇所及び対応方針を委員会で提示させていただきます。

３．幹線道路の交通安全対策検討

事故ゼロプランの取り組みについて

・前回の第33回の安全性向上委員会では、「対策実施箇所の対策完了(卒業判定)」「対策実施箇所の中間評価」について確認しました。
・今回の委員会では、第32回委員会で選定した「第7期事故危険区間の対策検討」及び「効果未発現箇所の追加対策検討」を行います。



事故危険区間【第7期】の選定手法

・新たな事故危険区間【第7期】については、第31回委員会にて、茨城県の事故の特徴を分析した結果、第6期の指標選定時から概ね変わりがないことから、第6期と同様の選定指標で抽出することについて承認を頂きました。

・国管理の道路12区間、県管理の道路10区間が指標に該当しました。

事故危険区間第7期の選定結果(区間数)

茨城県内の幹線道路【約24,500区間】

↓

最新事故データによる選定

総合的な指標
死傷事故率　など

県内の特徴的な事故の指標
歩行者・自転車事故　など

新たな指標
工作物接触事故、二輪車事故

国：32区間
県：30区間

↓

第1期～第6期事故危険区間
およびH25・H29・R4事故危険箇所
選定済み箇所の除外

除外対象　国：21区間
県：20区間

↓

新たな事故危険区間【第7期】

国：12区間　県：10区間

第7期の選定指標

第31回委員会で承認済

■選定指標・基準

区分	選定指標	選定基準	常陸河川国道管内平均値 H27-30	選定基準の根拠	(参考)第6期の選定基準	H30-R3 選定基準該当区間数 6期までに検討済みの区間は除外 国(常陸＋宇都宮)	県
総合的な指標	①死傷事故率	300件/億台キロ　以上				2区間	3区間
	②死傷事故件数	16件以上	3.2件	平均事故件数の5倍	16件	1区間	1区間
	③死亡者数	2人以上	―	ワースト1位	2人	0区間	0区間
県内の特徴的な事故に関する指標	④歩行者自転車事故	8件以上	1.5件	平均事故件数の5倍	8件	0区間	1区間
	⑤夜間事故	9件以上	1.9件	平均事故件数の5倍	9件	1区間	0区間
	⑥子供事故(1当、2当を含む)	2件以上	―	ワースト1位	2件	0区間	0区間
	⑦高齢者事故(1当、2当を含む)	5件以上	―	過去の選定指標	5件	7区間	8区間
	⑧横断歩行者事故	5件以上	―	過去の選定指標	5件	0区間	1区間
	⑨追突事故	13件以上	2.6件	平均事故件数の5倍	13件	0区間	0区間
	⑩正面衝突事故	2件以上	―	過去の選定指標	2件	0区間	0区間
追加指標 第4期	⑪工作物接触事故	1件以上	―	ワースト1位	1件	2区間	0区間
	⑫二輪車事故	3件以上	―	ワースト1位	3件	0区間	1区間
					H30-R3 該当区間数 計(1つの区間が複数指標に該当する場合があるため単純和とは異なる)	12区間	10区間

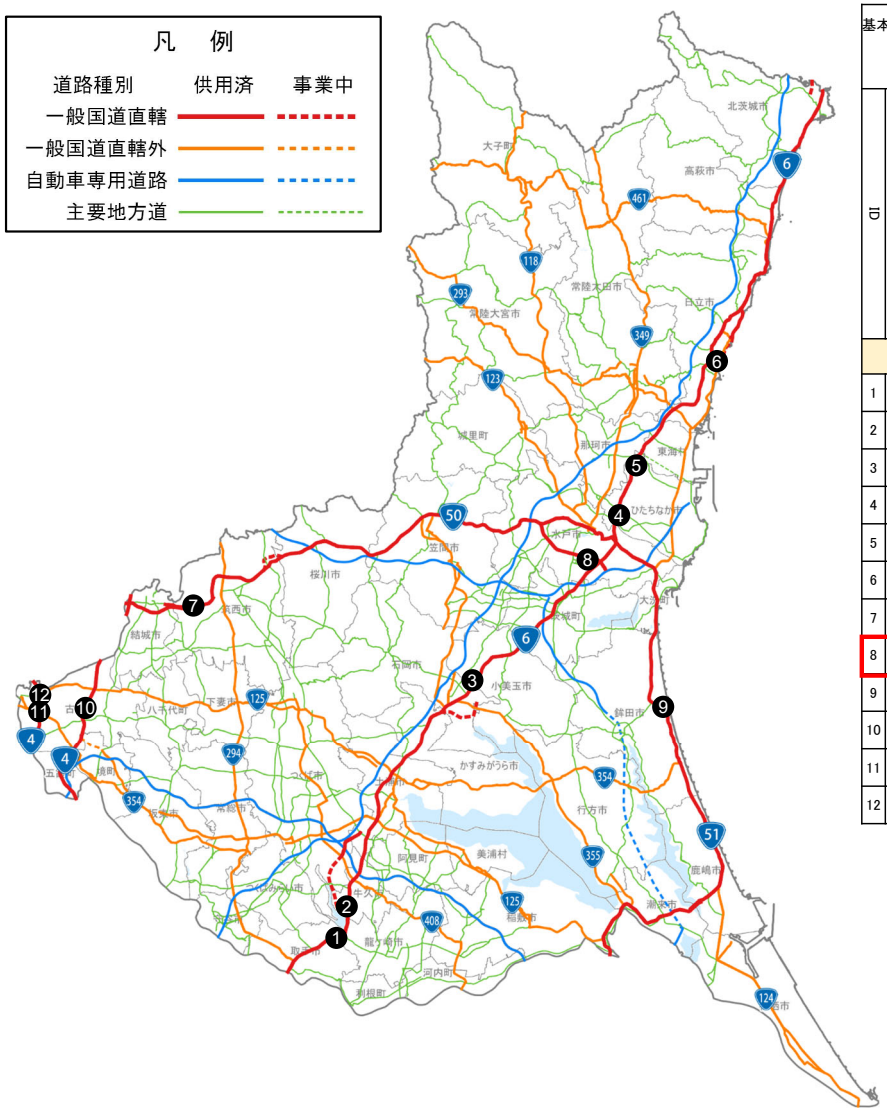
※選定基準は、以下のうちもっとも小さい値を採用。「選定基準の根拠」にいずれかを記載。
①常陸河川国道管内の事故発生区間における平均事故件数の5倍
②常陸河川国道管内のワースト1位
③第5期の選定基準

事故危険区間【第7期】の対策検討結果　国管理の道路（12区間）

・国管理の道路12区間は下表の通りであり、今回の委員会で対策検討した結果をご提示します。

・この12区間のうち、No8の一般国道50号水戸市四中南交差点を対象に対策検討結果をご説明します。

第32回委員会で承認済



基本データ								H30-R03　事故データ											
								基本指標			地域指標							新たな指標	
ID	管理者	道路種別	路線番号	交差点／単路	市町村名	箇所名	イタルダ区間番号	死傷事故率	死傷事故件数	死者数	歩行者・自転車×車両事故件数	夜間事故件数	子供（15歳以下）事故件数（1当2当）	高齢者（65歳以上）事故件数（1当2当）	横断者歩行者事故件数	追突事故件数	正面衝突事故件数	工作物衝突事故件数	二輪車事故件数（1当2当の組み合わせ）
							基準値	300	16	2	8	9	2	5	5	13	2	1	3
1	常陸河川国道	3	6	交差点	取手市	藤代高校入口交差点周辺	08-K60814-000	108.5	8	0	1	1	0	5	0	5	0	0	0
2	常陸河川国道	3	6	交差点	牛久市	みどり野団地西交差点周辺	08-K50019-000	301.0	9	0	0	1	0	3	0	3	0	0	1
3	常陸河川国道	3	6	単路	石岡市	石岡市東大橋（区間）	08-T65453-000	193.5	10	0	3	1	0	5	0	7	0	0	0
4	常陸河川国道	3	6	交差点	ひたちなか市	枝川立体北側（合流部）	08-K08004-100	151.1	5	1	3	4	0	3	0	1	0	1	1
5	常陸河川国道	3	6	交差点	ひたちなか市	佐和上宿交差点	08-K61161-000	121.6	5	0	0	2	0	1	0	2	0	1	0
6	常陸河川国道	3	6	交差点	日立市	桜川町三丁目東交差点	08-K07187-000	112.4	5	0	1	0	0	5	0	0	0	0	0
7	常陸河川国道	3	50	単路	筑西市	筑西市玉戸（区間）	08-T05270-000	143.8	7	0	0	1	0	5	0	7	0	0	0
8	常陸河川国道	3	50	交差点	水戸市	四中南交差点	08-K61092-000	186.6	12	0	1	4	0	5	0	8	0	0	0
9	常陸河川国道	3	51	単路	鉾田市	柏熊（区間）	08-T08264-000	121.0	8	0	0	1	0	5	0	4	1	0	0
10	宇都宮国道	3	4	交差点	古河市	柳橋（北）交差点	08-K06566-000	240.9	16	0	0	9	0	2	0	9	0	0	1
11	宇都宮国道	3	4	交差点	古河市	大堤交差点	08-K01930-000	284.7	5	0	2	2	1	5	0	0	0	0	1
12	宇都宮国道	3	4	交差点	古河市	古河駅入口交差点	08-K01957-000	455.6	8	0	2	4	1	2	0	4	0	0	0

該当指標

事故危険区間【第7期】の対策検討結果　国管理代表区間

【No.8】 一般国道 50号　水戸市　四中南交差点

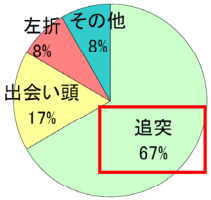
位置図

事故発生状況

H30-R3事故データ（第7期事故危険区間選定時）
- 死傷事故件数：12件
- 該当指標：高齢者事故件数5件以上（5件/4年）

事故類型

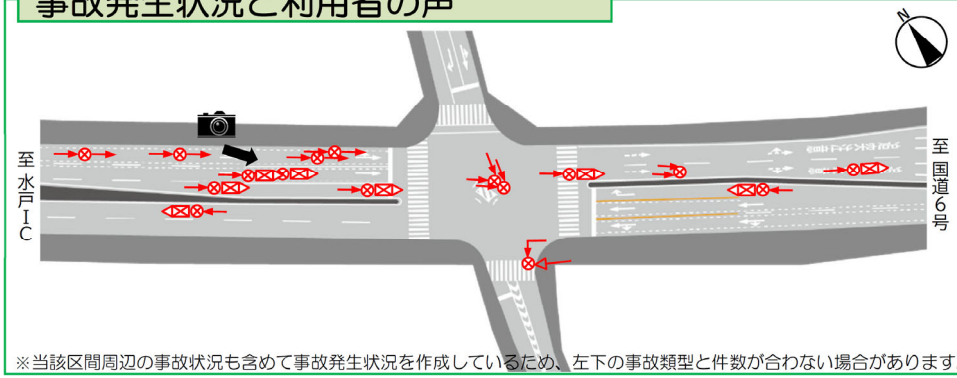
H30-R3（選定時）の合計事故件数（12件）



選定の視点

第7期事故危険区間		
基本指標	地域指標	新たな指標
	●（高齢者事故件数）	

事故発生状況と利用者の声



現地写真

※当該区間周辺の事故状況も含めて事故発生状況を作成しているため、左下の事故類型と件数が合わない場合があります。

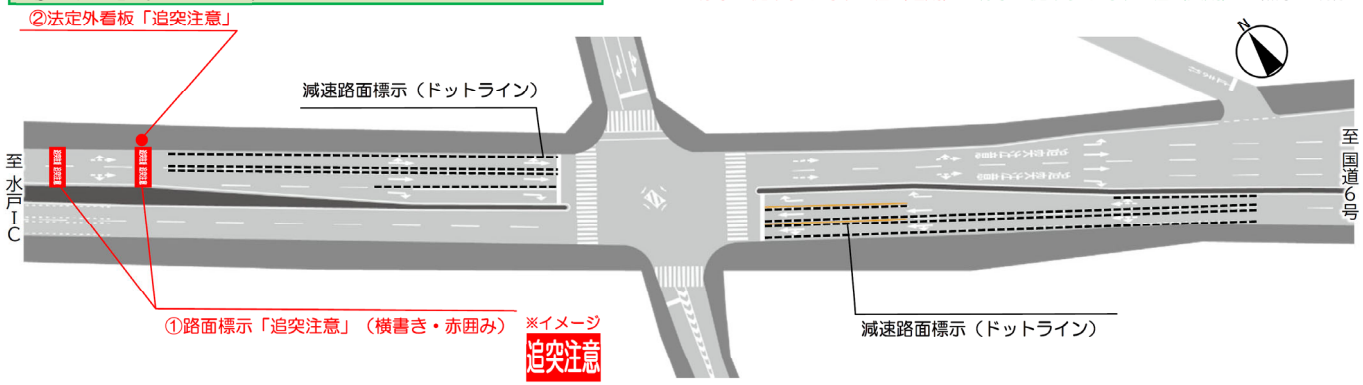
要因分析と対策方針

※「短期」：道路管理者の判断で対策実施可能な対策　「長期」：対策実施の判断も含めて協議・検討が必要な対策

着目事故	要因	対策方針	具体の対策内容案※	
①追突	信号切り替わり時の前方車の急減速や急停止によって、後続車が追突	運転者への注意喚起	①路面標示「追突注意」（横書き・赤囲み）	短期
			②法定外看板「追突注意」	短期

事故対策の立案

赤字：提案する対策工種（短期）　緑字：提案する対策工種（長期）　黒字：既存

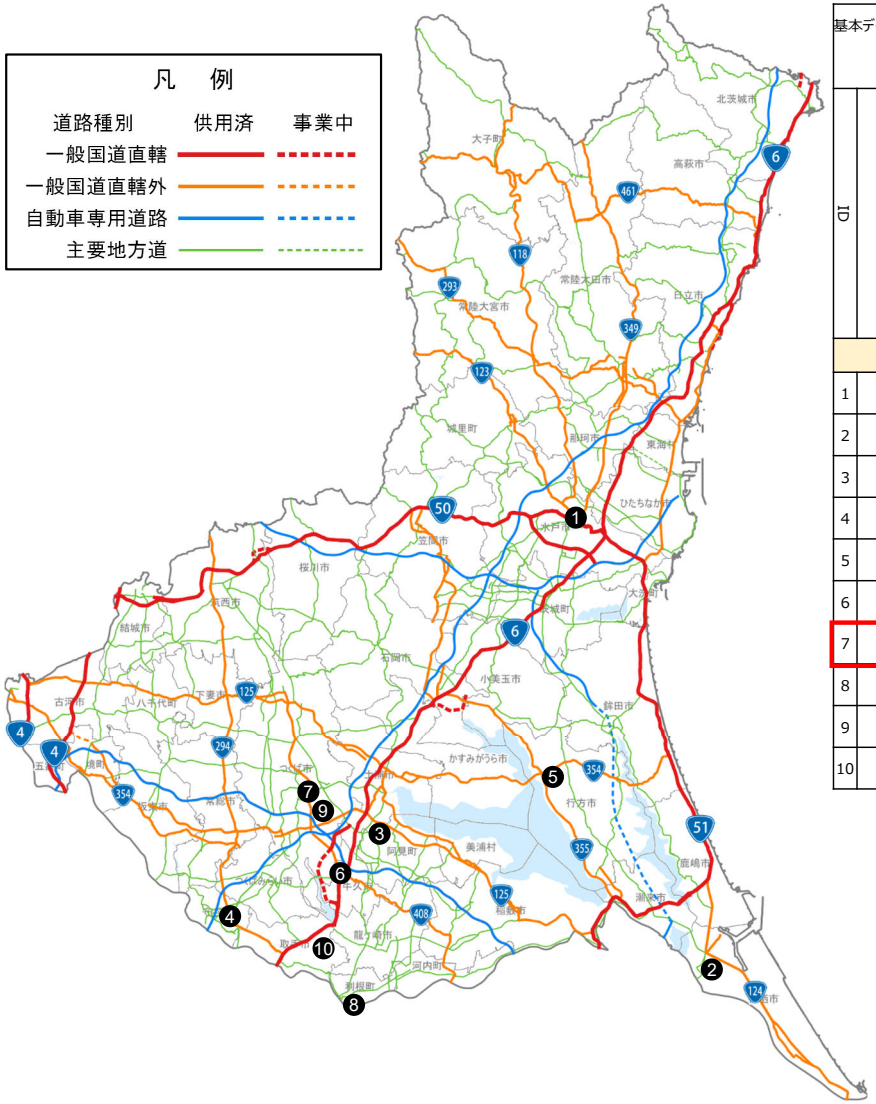


事故危険区間【第7期】の対策検討結果　県管理の道路（10区間）

・県管理の道路10区間は下表の通りであり、今回の委員会で対策検討した結果をご提示します。

・この10区間のうち、No7の一般国道408号つくば市春日3丁目交差点を対象に対策検討結果をご説明します。

第32回委員会で承認済



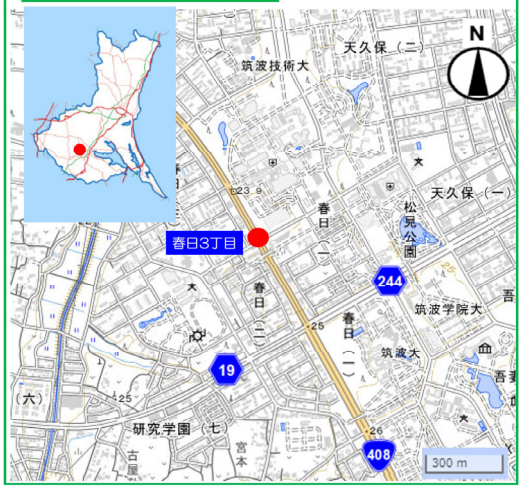
基本データ								H30-R03　事故データ											
								基本指標			地域指標							新たな指標	
ID	管理者	道路種別	路線番号	交差点／単路	市町村名	箇所名	イタルダ区間番号	死傷事故率	死傷事故件数	死者数	歩行者・自転車×車両事故件数	夜間事故件数	子供（15歳以下）事故件数（1当2当）	高齢者（65歳以上）事故件数（1当2当）	横断者歩行者事故件数	追突事故件数	正面衝突事故件数	工作物衝突事故件数	二輪車事故件数（1当2当の組み合わせ）
							基準値	300	16	2	8	9	2	5	5	13	2	1	3
1	茨城県	3	118	交差点	水戸市	末広町３丁目交差点	08-K07042-000	345.8	9	0	2	2	0	2	0	3	0	0	1
2	茨城県	3	124	交差点	神栖市	大野原四丁目交差点	08-K06213-000	157.2	9	0	4	2	0	5	1	2	0	0	0
3	茨城県	3	125	交差点	稲敷郡阿見町	中郷東交差点	08-K61003-000	773.8	16	0	3	4	0	9	0	2	0	0	0
4	茨城県	3	294	交差点	守谷市	百合ヶ丘３丁目交差点	08-K50112-000	347.4	11	0	1	6	0	2	1	3	0	0	3
5	茨城県	3	354	単路	行方市	行方市玉造（区間）	08-T11981-000	61.8	8	1	0	5	0	5	0	4	1	0	1
6	茨城県	3	408	交差点	牛久市	牛久愛和病院入口交差点	08-K50832-000	235.8	8	0	3	2	0	5	0	2	0	0	1
7	茨城県	3	408	交差点	つくば市	春日３丁目交差点	08-K06849-000	231.8	12	0	6	3	0	5	1	2	0	0	1
8	茨城県	4	11	単路	取手市	取手市東（区間）	08-T04219-000	53.5	8	0	4	1	0	5	0	3	0	0	1
9	茨城県	5	123	交差点	つくば市	東新井交差点	08-K06697-000	261.8	11	0	2	4	0	5	0	2	0	0	0
10	茨城県	5	208	交差点	取手市	藤代庁舎東交差点	08-K00887-000	292.9	9	0	9	4	0	6	5	0	0	0	0

該当指標

事故危険区間【第7期】の対策検討結果　県管理代表区間

【No.7】 一般国道408号 つくば市 春日3丁目交差点

位置図

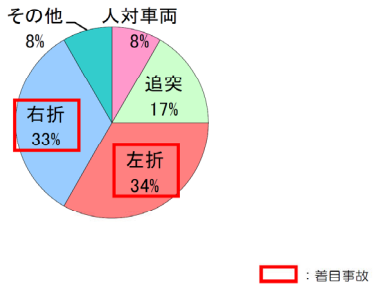


事故発生状況

H30-R3事故データ（第7期事故危険区間選定時）
- 死傷事故件数：12件
- 該当指標：高齢者事故件数5件以上（5件/4年）

事故類型

H30-R3（選定時）の合計事故件数（12件）

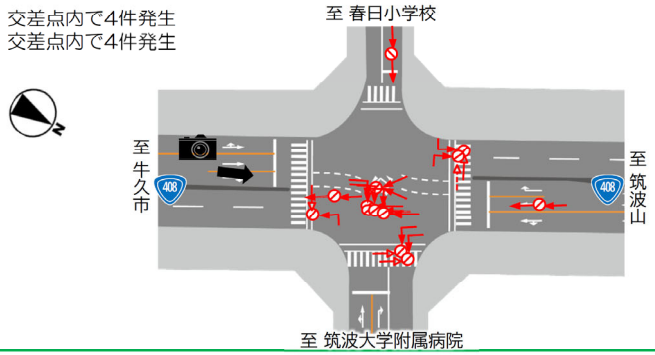


選定の視点

第7期事故危険区間		
基本指標	地域指標	新たな指標
	●（高齢者事故件数）	

事故発生状況と利用者の声

① 左折　交差点内で4件発生
② 右折　交差点内で4件発生



現地写真

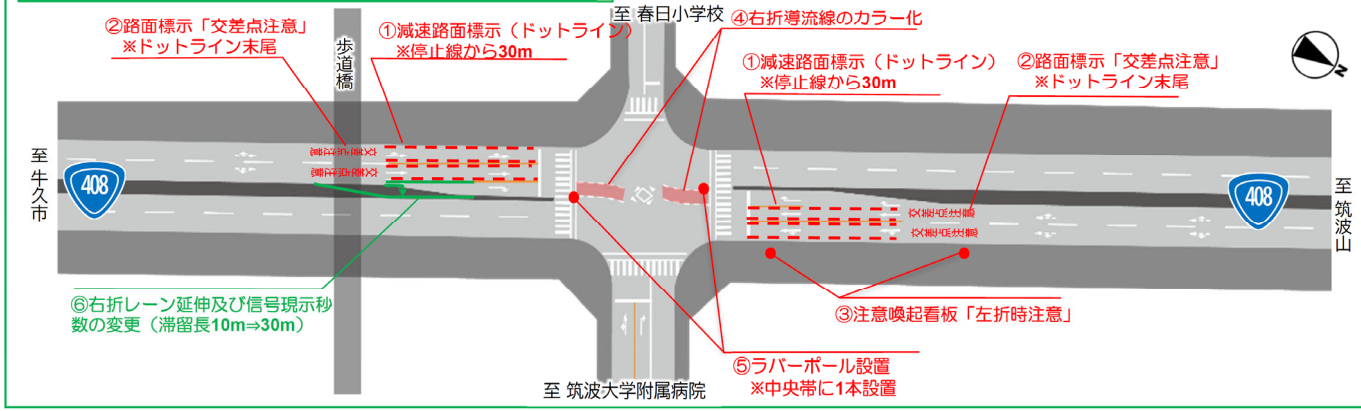
要因分析と対策方針

※「短期」：道路管理者の判断で対策実施可能な対策　「長期」：対策実施の判断も含めて協議・検討が必要な対策

着目事故	要因	対策方針	具体の対策内容案※	
①左折	左折時の速度超過	速度抑制	①減速路面標示（ドットライン）	短期
		注意喚起	②路面標示「交差点注意」	短期
			③注意喚起看板「左折時注意」	短期
②右折	直進車における対向右折車の認知遅れ	速度抑制	④右折流導線のカラー化	短期
	無理な右折	注意喚起	⑤ラバーポール設置	短期
	右折車両が多いことで捌け残りが発生	右折車両のはみ出し・捌け残りの解消	⑥右折レーン延伸及び信号現示秒数の変更	長期

事故対策の立案

赤字：提案する対策工種（短期）　緑字：提案する対策工種（長期）　黒字：既存



追加対策区間の対策検討結果　県管理の道路（3区間）

・追加対策区間は国管理の道路では該当がなく、県管理の下記3区間が該当し、今回の委員会で対策検討した結果をご提示します。

・さらに令和5年度に合同現地診断を実施した区間（一般国道125号　（仮）右籾グラウンド北交差点　）の追加検討結果をご説明します。

【H28対策箇所（対策完了（卒業）判定）】

※事故データ（H29～R2）

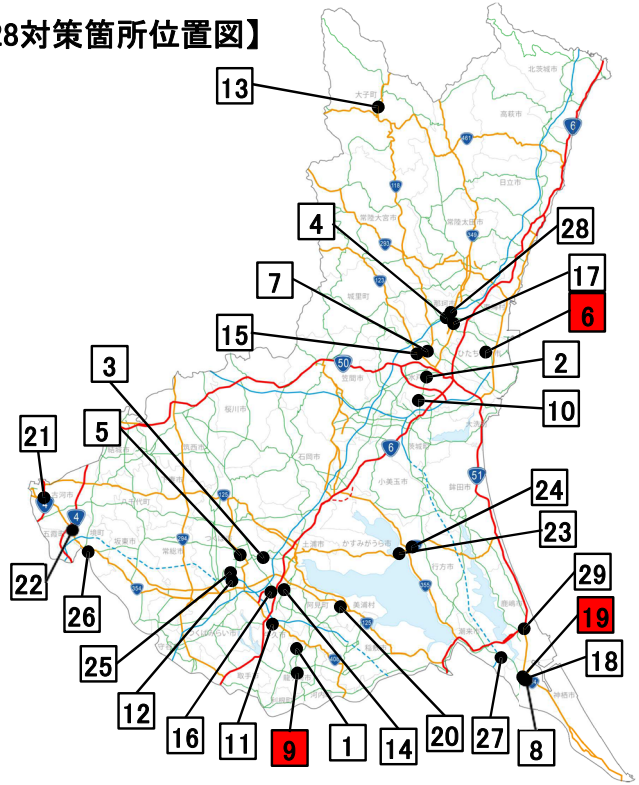
cc	区分	ID	管理	路線名	市町村	箇所名	対策年	総事故件数（件/4年） 対策前（選定時）	対策後	4割未満減少	死傷事故率（件/億台キロ）	選定指標（件/4年） 死亡者数	歩行者自転車事故	夜間事故	子供事故	高齢者事故	横断歩行者事故	追突事故	正面衝突事故	工作物衝突事故	二輪車事故	指標該当	対策完了（卒業）判定
1	第2期(事故データ)		県	主要地方道34号	龍ケ崎市	つくばの里工業団地交差点	H28	9	1		42.2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	－	○
2	第2期(事故データ)		県	主要地方道50号	水戸市	偕楽園下（区間）	H28	0	0		0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	－	○
3	第2期(事故データ)		県	主要地方道24号	つくば市	吉瀬交差点	H28	15	4		86.2	0	0	3	0	1	0	2	0	0	0	－	○
4	第2期(事故データ)		県	主要地方道31号	那珂市	（区間名なし）	H28	2	1		53.3	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	－	○
5	第2期(事故データ)		県	一般県道408号	つくば市	大学病院西交差点	H28	16	7		135.2	0	4	4	0	2	0	1	0	0	0	－	○
6	第2期(事故データ)		県	一般県道245号	ひたちなか市	海浜公園入口交差点	H28	9	9	●	213.2	0	1	6	0	2	0	3	0	0	1		×
7	第2期(事故データ)		県	一般県道118号	水戸市	千歳橋南交差点	H28	9	1		43.0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	－	○
8	第2期(アンケート)		県	一般県道124号	神栖市	大野原（区間）	H28	0	0		0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	－	○
9	H25事故危険箇所		県	主要地方道5号	龍ケ崎市	緑町（区間）	H28	5	5	●	99.8	0	1	2	0	1	1	1	0	0	1	－	×
10	H25事故危険箇所		県	主要地方道50号	水戸市	笠原町（区間）	H28	6	2		42.2	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	－	○
11	H25事故危険箇所		県	一般県道408号	牛久市	上柏田（区間）	H28	11	6		84.8	0	2	0	0	3	1	1	0	0	0	－	○
12	H25事故危険箇所		県	主要地方道19号	つくば市	上横場（区間）	H28	22	6		62.4	0	1	3	0	1	0	1	0	0	0	－	○
13	H25事故危険箇所		県	一般県道118号	久慈郡大子町	池田（区間）	H28	27	6		64.3	0	0	3	0	1	0	4	0	0	0	－	○
14	H25事故危険箇所		県	一般県道203号	土浦市	右籾3区西交差点	H28	11	5		199.1	0	1	4	0	2	1	1	0	0	1	－	○
15	H25事故危険箇所		県	一般県道123号	水戸市	茨大入口交差点	H28	12	7		316.6	0	0	3	0	0	0	1	0	0	1	－	○
16	H25事故危険箇所		県	主要地方道55号	土浦市	中村南6丁目交差点	H28	15	5		127.7	0	1	0	0	2	0	1	0	0	0	－	○
17	H25事故危険箇所		県	一般県道349号	那珂市	竹ノ内南交差点	H28	16	6		114.3	0	1	2	0	5	0	2	0	0	1	－	○
18	第3期(事故データ)		県	一般県道124号	神栖市	平泉東交差点	H28	16	1		17.5	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	－	○
19	第3期(事故データ)		県	一般県道124号	神栖市	筒井北交差点	H28	12	11	●	206.2	0	0	0	0	3	0	1	0	0	1		×
20	第3期(事故データ)		県	一般県道125号	稲敷郡美浦村	木原台交差点	H28	10	4		193.4	0	0	0	0	1	0	4	0	0	0	－	○
21	第3期(事故データ)		県	一般県道354号	古河市	大堤（区間）	H28	6	0		0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	－	○
22	第3期(事故データ)		県	一般県道354号	猿島郡境町	境町（交差点）	H28	7	3		283.9	0	2	1	0	3	0	0	0	0	0	－	○
23	第3期(事故データ)		県	一般県道354号	行方市	霞ヶ浦大橋（区間）	H28	8	2		16.4	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	－	○
24	第3期(事故データ)		県	一般県道354号	行方市	玉造甲（区間）	H28	14	1		24.7	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	－	○
25	第3期(事故データ)		県	主要地方道19号	つくば市	柳橋（交差点）	H28	8	0		0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	－	○
26	第3期(事故データ)		県	主要地方道56号	古河市	駒羽根（交差点）	H28	9	2		80.2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	－	○
27	第3期(事故データ)		県	主要地方道50号	潮来市	延方（区間）	H28	8	0		0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	－	○
28	第3期(ITデータ)		県	主要地方道31号	那珂市	ひばりヶ丘交差点	H28	5	4	—	243.7	0	0	2	0	3	0	3	0	0	0	－	○
29	第3期(ITデータ)		県	一般県道124号	鹿嶋市	神武殿前交差点	H28	5	2	—	37.5	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	－	○

注1）県管理は総事故件数が8件/4年以上の区間を選定指標確認の対象とする（8件/4年未満の箇所は対象としない）
注2）第3期（ITデータ）の箇所はWEBアンケートに基づく選定箇所のため、4割減少の確認の対象としない。
注3）対策前は最新の事故データに基づく条件で集計範囲を見直している

：指標該当　―　：対象外

第31回委員会で承認済

【H28対策箇所位置図】



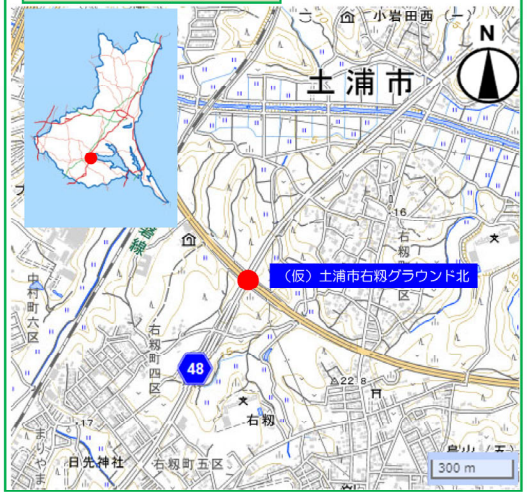
【第6期選定指標】

選定指標		選定基準
基本指標	死傷事故率	300 件/億台キロ以上
	死傷事故件数	16 件以上/4年
	死者数	2 人以上/4年
地域指標	歩行者自転車事故	8 件以上/4年
	夜間事故	9 件以上/4年
	子供事故	2 件以上/4年
	高齢者事故	5 件以上/4年
	横断歩行者事故	5 件以上/4年
	追突事故	13 件以上/4年
	正面衝突事故	2 件以上/4年
新たな指標	工作物衝突事故	1 件以上/4年
	二輪車事故	3 件以上/4年

追加対策区間の対策検討結果　県管理代表区間

一般国道 125号　土浦市　（仮）土浦市右籾グラウンド北交差点　（第6期事故危険区間：令和5年度合同現地診断箇所）

位置図



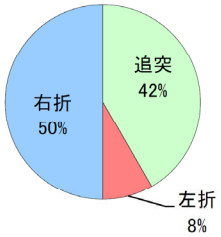
事故発生状況

H28-R1事故データ（区間選定時）
・死傷事故件数：12件
・該当指標：高齢者事故件数5件以上(5件/4年)

※当該箇所は、第6期として選定。R5合同現地診断実施済

事故類型

H28-R1の
合計事故件数（12件）



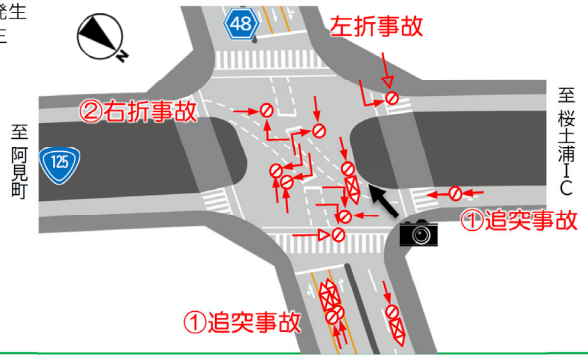
：着目事故

選定の視点

対策効果未発現箇所		
基本指標	地域指標	新たな指標
	●（高齢者事故件数）	

事故発生状況と利用者の声

① 追突　交差点付近で5件発生
② 右折　交差点内で6件発生



現地写真

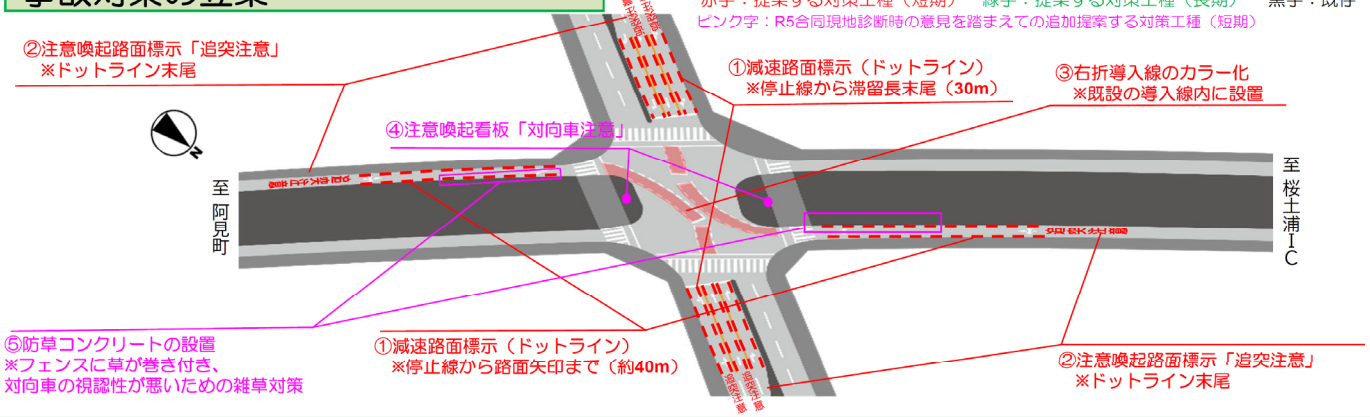
要因分析と対策方針

※「短期」：道路管理者の判断で対策実施可能な対策　「長期」：対策実施の判断も含めて協議・検討が必要な対策

当初の着目事故	実施した対策	新たな着目事故	要因	対策方針	具体の対策内容案※
追突（残存）	路面標示「追突注意」	①追突（残存）	広い大規模交差点のため、交差点侵入時に速度が高くなりやすい	速度抑制	①減速路面標示（ドットライン）
	減速路面標示（ドットライン）			注意喚起	②路面標示「追突注意」
右折（残存）	右折指導線内カラー舗装	②右折（残存）	橋脚があるため、視認性が悪い	速度抑制及び対向直進車への注意喚起	③右折導流線のカラー化
					④注意喚起看板「対向車注意」※立て看板設置（右折車への注意喚起）
					⑤防草コンクリートの設置

事故対策の立案

赤字：提案する対策工種（短期）　緑字：提案する対策工種（長期）　黒字：既存
ピンク字：R5合同現地診断時の意見を踏まえての追加提案する対策工種（短期）



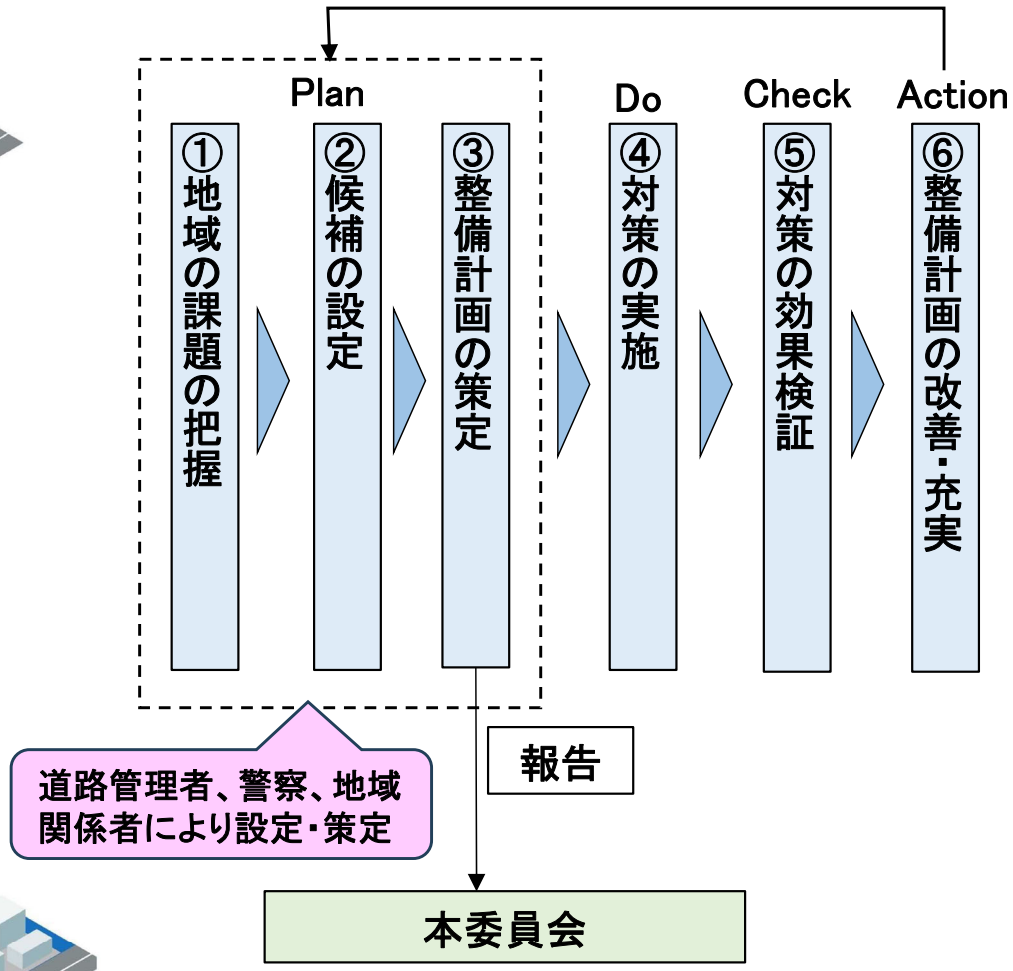
4. 生活道路の交通安全対策検討

ゾーン30プラスの概要

・国土交通省と警察庁が連携して進める生活道路の交通安全施策「ゾーン30 プラス」は、令和3年8月に施策を開始しています。
・ゾーン30プラスでは道路管理者、警察、地域関係者が主体となって策定した計画を本委員会に報告するルールとなっています。

■新たな連携施策「ゾーン30プラス」について

■ゾーン30プラスの取り組みフロー



出典:生活道路の交通安全ポータル(国土交通省HP)

ゾーン30プラスの整備計画：ひたちなか市

・ひたちなか市外野（そとの）地区で、地域住民、警察、学校関係者、道路管理者、交通安全協会等で合意形成を図りながら、交通規制、物理的デバイス設置等の「ゾーン30プラス」の整備計画案を作成し、令和5年11月の会議で関係者から承諾を得ています。

■概要

−位置図−

−計画作成年月
− R5. 11

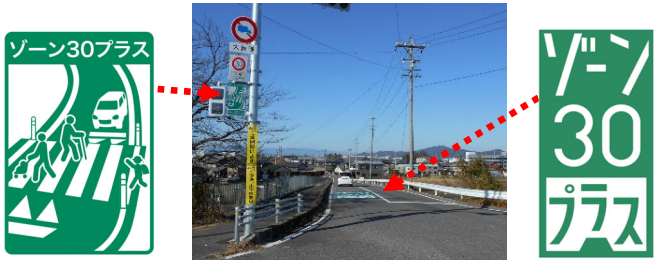
−推進体制−

- ひたちなか警察署
- ひたちなか市
- ひたちなか地区交通安全協会
- ひたちなか地区安全運転管理者協議会
- ひたちなか市自治会連合会
- ひたちなか市交通安全母の会連合会

など

■対策イメージ

【ゾーン30プラス看板・路面表示（法定外表示）】

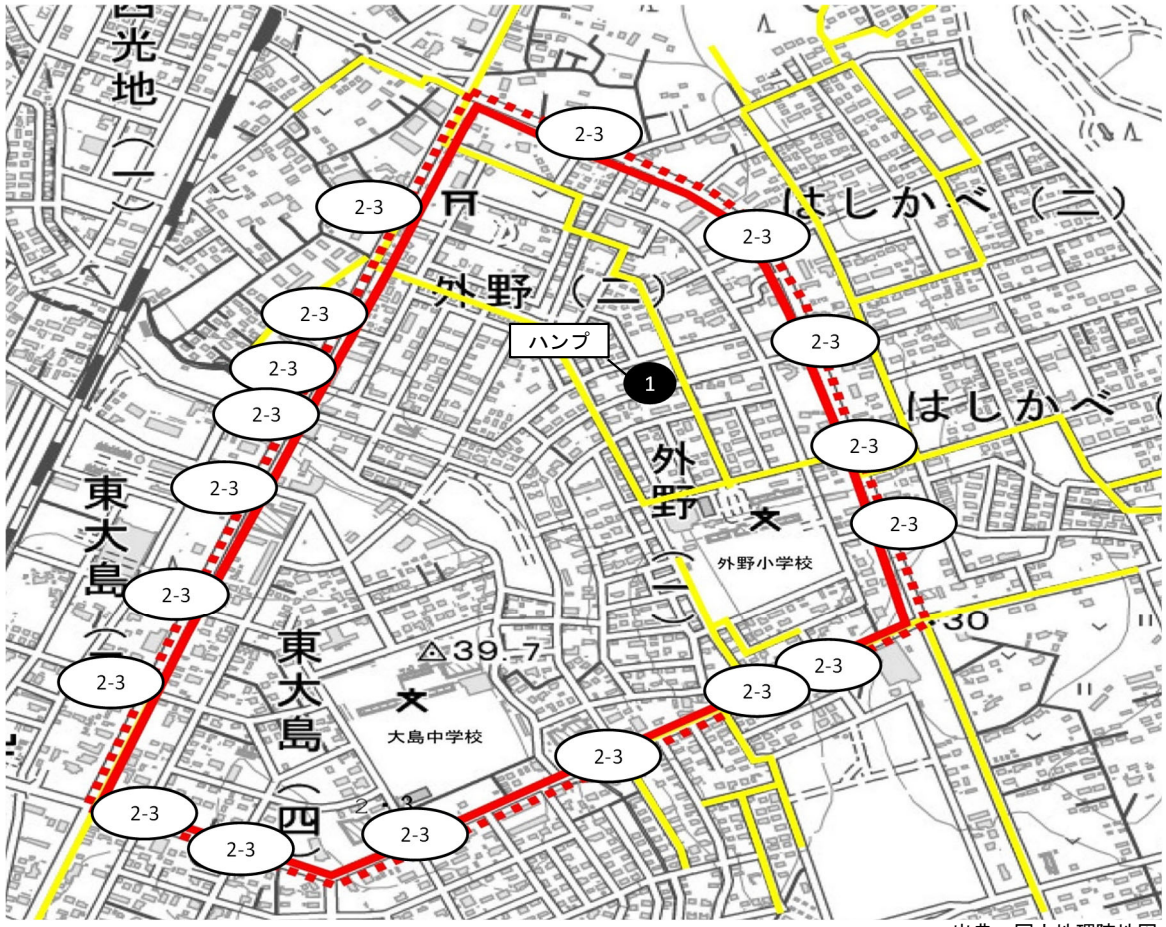


看板　　路面表示

【ハンプ】

出典：ゾーン30プラスパンフレット

■ひたちなか市外野（そとの）地区　対策箇所と内容



出典：国土地理院地図

No	対策内容
1	ハンプ
2	ゾーン30プラス看板
3	ゾーン30プラス路面表示（法定外表示）
4	パトロール

凡例

- 整備区域（ゾーン30プラス）
- 整備区域に含まれない外周道路
- 通学路

凡例

- 対策完了
- 対策中
- 対策予定

5. 今後のスケジュール

今後の安全性向上委員会のスケジュール

○本日の委員会

1. これまでの検討経緯
2. 第33回委員会における主な指摘事項と対応
3. 幹線道路の交通安全対策検討
4. 生活道路の交通安全対策検討
5. 今後のスケジュール

○合同現地診断（令和6年秋頃開催予定）

○次回　安全性向上委員会（令和7年2月頃開催予定）

- これまでの検討経緯
- 幹線道路の交通安全対策検討
  - ⇒これまでの事故危険区間の対策完了（卒業）判定
  - ⇒新たな事故危険区間【第8期】の抽出方針について
  - ⇒合同現地診断結果
- 生活道路の交通安全対策検討
- 今後のスケジュール